

ナオイの森ECOプロジェクトの取り組み

ナオイオート

ナオイオート（直井清正社長、茨城県取手市）は、2009年から茨城県緑化推進機構（現茨城県森林・林業協会）と連携し、茨城県内の小学校に森を作り上げる「ナオイの森ECOプロジェクト」を立ち上げた。地域で事業を展開する自動車関連企業ならではの地域貢献を模索する中での取り組みとして展開している。

目的として①地球温暖化防止に貢献すること②「地域一番店」をゴールとする企業として、地域社会への感謝と次世代を担う地元の子どもの育成に貢献する」と掲げている。

活動内容は「感謝祭」などのイベントでの売上金を茨城県森林・林業協会に用途限定募金として寄付すること。また、各学校の要望に合わせて「校庭内の遊歩道の整備」「校内の池の整備」「ウッドテーブルの寄贈」「木製遊具施設の整備」「記念植樹」などを実施している。事業実施後に行われる完成式典には社員らが出席し、先生や児童との交流を図っているという。



一部の事業には、小学校の近隣店舗の社員を派遣してウッドテーブルなどの設置をサポートするなど地域との関わりにおいて幅広い活動につながっている。23年3月現在の募金の累計は1600万円を超える。

同社は今後も「日本一」「業界ナンバーワン」ではなく、「地域ナンバーワン」の実現に向けて、「地域住民に一番愛されるクル

売上の一部寄付などで地域緑化に貢献

【受賞者コメント】
この度は地域・コミュニティ活性化賞をいただき、誠に光栄に存じます。地域に根付いた経営を目指す弊社にとっては、誠に光栄であり、心より嬉しく思います。もちろん、この栄誉は弊社のスタッフの取り組みの力だけではなく、お客様の協力もあって成し遂げることができた証でございます。この場を借りて感謝申し上げます。今後もこれまで以上に地域と共に繁栄できる会社づくりに尽力して参ります。この度は本当にありがとうございました。

マ屋」を目指す考え。さらに、「ナオイの森」をきっかけとした地域とのつながり、雇用の創出、顧客満足、社員の働きがいなど、さまざまな可能性と効果をこれまで以上に活性化させていく。

